



インフラバラエティ番組「ももいろインフラZ」 「土木広報大賞二〇二二」最優秀賞を受賞



この番組は、インフラの正しい知識を国民全体に広げ、インフラの重要性を認識していただきたいとの趣旨から構想された。より多くの国民にご覧いただくため、「バラエティ」的な要素を取り入れた番組として、二〇二二年九月から、東京メトロポリタンテレビジョンで放映を開始した。これまでに放映された番組は、YouTubeでいつでも視聴できる。

日本建設業連合会 土木運営会議 構成企業二二社により設立された「ももいろインフラZ広報協議会」が費用面、番組企画、現場取材、情報提供などに全面的に協力している。

ストーリーは、ももいろクロージャーZ（以下 ももクロ）のメンバー四人が、日本を救う秘密結社「もも

いろインフラZ」のメンバー（生徒役）となり、普段の生活ではなかなか知ることのできないインフラについて、藤井聡先生（京都大学大学院工学研究科教授、元内閣官房参与）から教えてもらう内容。

番組で使用する素材は、国土交通省、NEXCOなど道路会社、電力・鉄道会社、建設会社などから幅広く提供されており、CMを一切入れない一時間番組となっている。

番組の特徴として、大きく三点挙げられる。

一点目は、視聴者と同じ目線に立った番組づくりが意図されていること。普段インフラについて学ぶ機会が少ない一般の視聴者に、ももクロと藤井先生のやり取りを通して、その役割と重要性について理解してもらえる内容となっている。バラエ

ティ要素がありながら、藤井先生の解説が入ることにより、インフラへの興味・好奇心をかき立てる構成となっている。

二点目は、インフラの歴史から最先端技術まで幅広く紹介されていること。テーマ毎に、そのインフラ

がどのように建設されてきたのか、それらの建設に人生を懸けて取り組んだ偉人や、テーマにかかわる最新技術などを紹介し、インフラにかかわる技術の進歩と建設産業の「かつこよさ」を視聴者にも感じてもらえる流れになっている。

三点目は、ヤングインフラ戦士（建設現場で様々なインフラ整備に携わっている建設会社の若手職員）を毎回二名ずつ取り上げ、建設業界での仕事のやり甲斐と魅力をアピールしていること。

本番組は、土木学会（田中茂義

会長）主催の「土木広報大賞二〇二三」において、七三件の候補のなかから最優秀賞に選ばれた。

「ももいろインフラZ広報協議会」では、今後も番組を通してインフラの重要性を広く社会にアピールしていきたい。



●これまでの放送

	放送回	テーマ
特番	第1回(22年9月)	治水
	第2回(23年3月)	道路
レギュラー	第1回(23年4月)	地震対策
	第2回(23年6月)	新幹線
	第3回(23年8月)	港
	第4回(23年10月)	電力
	第5回(23年12月)	橋
	第6回(24年2月)	高潮
	第7回(24年4月)	トンネル

●今後の放送予定

	放送予定時期	放映予定テーマ
レギュラー	24年6月	街づくり
	24年8月	海岸埋め立て(液状化対策)
	24年10月	道路(道の駅)
	24年12月	河川(ダム)

番組HPはこちら



これまでの放送はこちら



※(株)安藤・間、(株)大林組、(株)奥村組、(株)鹿島建設、(株)熊谷組、(株)鴻池組、(株)五洋建設、(株)清水建設、(株)銭高組、(株)大成建設、(株)竹中土木、(株)鉄建建設、(株)東亜建設工業、(株)東急建設、(株)東洋建設、(株)戸田建設、(株)飛鳥建設、(株)西松建設、(株)アジタ、(株)前田建設工業、(株)三井住友建設 21社で構成